

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 第3次産業活動指数(2009年1月)

発表日2009年3月17日(火)

～単月では上昇も悪化傾向に変化なし～

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 エコノミスト 小杉 晃子

T E L : 03-5221-4548

(単位: %)

		第3次産業活動指数		電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・福祉	サービス業
		前期比	前年比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比
07	7-9月	0.1	1.5	0.0	0.7	0.0	▲ 0.4	0.8	0.4	▲ 1.2	0.1	▲ 0.3
	10-12月	▲ 0.1	0.9	1.5	0.1	0.4	0.2	▲ 3.4	▲ 0.5	0.1	0.7	0.4
08	1-3月	▲ 1.1	0.6	0.8	▲ 2.2	▲ 1.5	▲ 0.1	▲ 2.8	▲ 0.6	▲ 0.2	▲ 0.5	▲ 0.9
	4-6月	0.9	▲ 0.2	▲ 3.2	3.5	0.7	1.5	1.5	1.3	0.3	2.0	▲ 0.6
	7-9月	▲ 0.6	▲ 0.8	0.0	▲ 2.7	▲ 1.5	▲ 1.3	▲ 1.1	▲ 0.2	▲ 0.9	0.9	▲ 0.2
	10-12月	▲ 1.7	▲ 2.7	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 3.2	▲ 4.9	▲ 2.5	▲ 0.9	▲ 0.3	0.8	▲ 0.6
07	7月	▲ 0.3	1.7	▲ 3.9	3.0	▲ 0.5	▲ 1.0	1.6	0.9	▲ 4.4	▲ 1.3	▲ 0.2
	8月	0.6	2.1	6.5	0.7	0.2	1.3	1.1	▲ 0.6	3.6	▲ 0.9	▲ 0.8
	9月	▲ 0.7	0.5	0.2	▲ 2.1	0.3	▲ 1.1	▲ 6.1	0.3	0.0	1.7	▲ 0.2
	10月	0.3	1.3	▲ 0.7	1.7	0.4	0.8	2.2	0.0	▲ 2.4	▲ 0.2	0.3
	11月	0.1	1.7	0.2	▲ 0.5	▲ 0.5	▲ 0.2	▲ 0.9	▲ 1.3	1.6	0.3	1.0
	12月	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.4	0.1	▲ 0.5	▲ 3.2	0.8	0.8	▲ 0.2	▲ 0.3
08	1月	0.4	1.0	0.2	0.3	▲ 1.1	0.8	1.7	1.4	▲ 0.6	▲ 1.3	0.6
	2月	▲ 1.6	1.7	4.9	▲ 1.3	0.2	▲ 1.0	▲ 3.3	▲ 4.8	▲ 1.7	1.0	▲ 4.0
	3月	0.0	▲ 0.5	▲ 7.2	▲ 3.9	▲ 1.3	0.4	0.6	3.6	1.6	0.8	3.5
	4月	1.9	0.7	0.7	9.7	2.0	1.5	1.3	0.9	▲ 1.0	0.6	0.3
	5月	▲ 0.2	▲ 0.2	0.4	▲ 3.1	0.2	1.0	0.8	▲ 0.7	1.0	0.6	▲ 2.4
	6月	▲ 1.0	▲ 1.0	▲ 2.8	▲ 1.5	▲ 2.0	▲ 1.7	1.2	0.4	0.2	▲ 0.1	▲ 0.5
	7月	1.2	0.7	5.1	▲ 1.1	0.9	2.0	▲ 1.0	▲ 0.5	▲ 0.4	0.6	2.1
	8月	▲ 1.3	▲ 2.2	▲ 5.5	3.7	▲ 1.1	▲ 2.2	▲ 0.8	0.9	▲ 1.3	▲ 0.5	▲ 2.1
	9月	▲ 0.7	▲ 0.9	1.6	▲ 5.8	▲ 1.1	▲ 2.7	▲ 2.0	▲ 0.6	▲ 0.2	1.2	1.1
	10月	0.5	▲ 1.4	1.2	2.2	▲ 0.3	0.6	2.0	▲ 0.5	▲ 1.2	0.9	▲ 0.3
	11月	▲ 1.1	▲ 3.7	0.8	2.4	▲ 0.9	▲ 2.6	▲ 2.9	▲ 1.6	1.1	▲ 0.2	▲ 1.5
	12月	▲ 1.6	▲ 2.9	▲ 4.3	▲ 3.8	▲ 2.4	▲ 3.5	▲ 2.6	2.3	2.1	▲ 1.5	1.9
09	1月	0.4	▲ 3.9	0.5	4.3	▲ 2.3	0.3	▲ 0.4	1.6	▲ 3.5	2.1	▲ 1.0

(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

○第3次産業活動指数：前月比+0.4%

1月の第3次産業活動指数は、前月比+0.4%とコンセンサス（同：▲0.5%、レンジ：同▲2.4%～+0.4%）を上回る結果となった。もっとも、単月ではプラスだったものの、11、12月に2ヶ月連続で大幅マイナスだったことの反動の面が大きい。実際、今月プラスに寄与した情報通信業（前月比寄与度：+0.44%ポイント）、医療・福祉業（同+0.22%ポイント）、複合サービス事業（同+0.15%ポイント）については、いずれも前月に大きく落ち込んだ反動で上昇したものである。均してみれば低下基調が続いていることに変わりはない。

その他の業種についてみると、卸売・小売業（前月比+0.3%）は2ヶ月連続で大幅に下落した反動からプラスに転じたが、運輸業（同▲2.3%）は、国内景気の悪化や在庫調整などにより物流量の低下が続いていることで、2ヶ月連続で低下している。また、株安による売上高の減少などから、証券業（同▲4.9%）が下落している。

○企業部門が低調に推移

第3次産業活動指数のうち、それぞれ家計と企業の活動に関連が深い業種を取り出してみると、家計部門¹が前月比+0.4%、企業部門²が同+0.4%であった。ともに単月ではプラスとなったが、均してみると家計部門

¹ 映像・音声・文字情報制作、旅客運送業、小売業、不動産取引業、住宅賃貸業、飲食店・宿泊業、医療・福祉、学習支援業、対個人サービス業

² 情報サービス業、貨物運送業、倉庫業、輸送に附帯するサービス業、卸売業、貸事務所業、対事業所サービス業

はほぼ横ばい、企業部門は大幅に低下している。物流量の減少に伴って卸売業や運輸業が大幅に悪化していることの影響が大きい。

○今後も悪化傾向が続く見通し

第3次産業活動指数の先行きを展望すると、家計、企業部門ともに低調な推移が見込まれる。

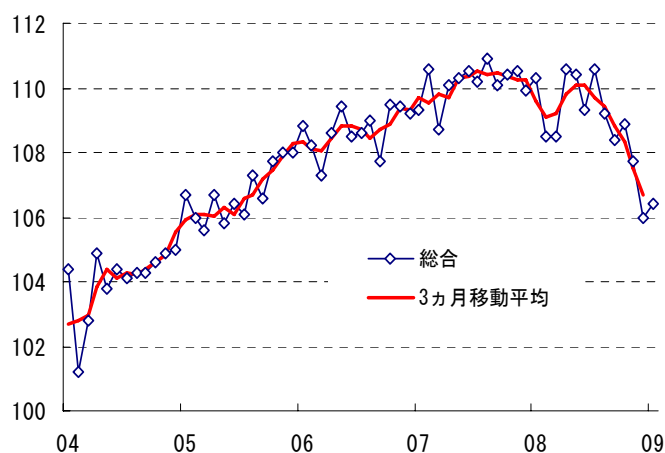
世界的な景気後退が持続するなか、貿易量や物流量の減少から、当面、企業部門の悪化状態が続くと予想される。実際、2月上中旬の貿易統計の結果をみても、輸出(前年比▲46.5%)の激減状態は継続しており、こうした輸出の減少による企業活動の低迷を背景として、広告や対事業所サービス業などの活動も抑制されると考えられる。

さらに、こういった世界的な需要減少に伴う企業収益の悪化や生産調整などが雇用・所得環境に波及することで、企業部門のみならず、小売業や対個人サービス業などの家計部門の活動も抑制されることが懸念される。

以上を踏まえると、世界的な景気後退による輸出減少、企業収益悪化、雇用情勢悪化の流れの中で、第3次産業活動指数は今後も低調に推移するだろう。

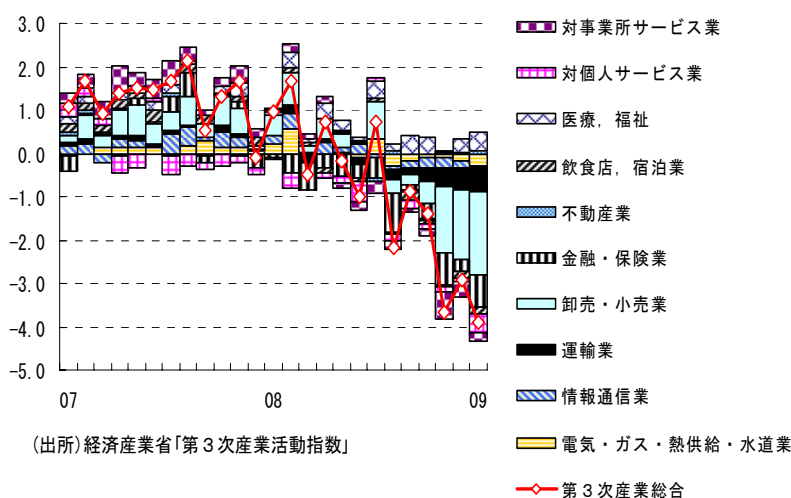
第3次産業活動指数（季調値）

2000年=100



(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

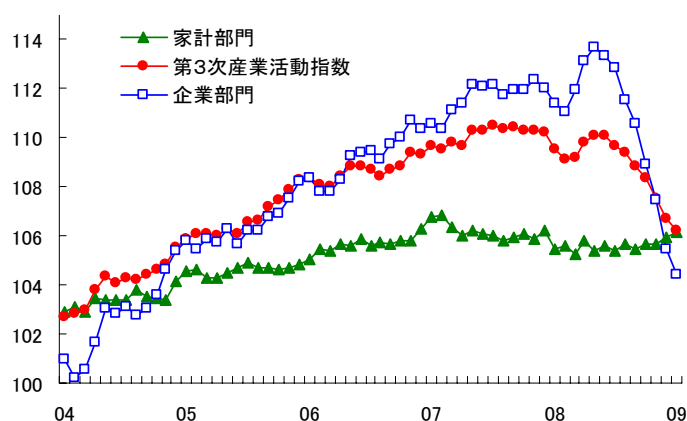
第3次産業活動指数前年比寄与度分解



(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

部門別3ヶ月移動平均の推移

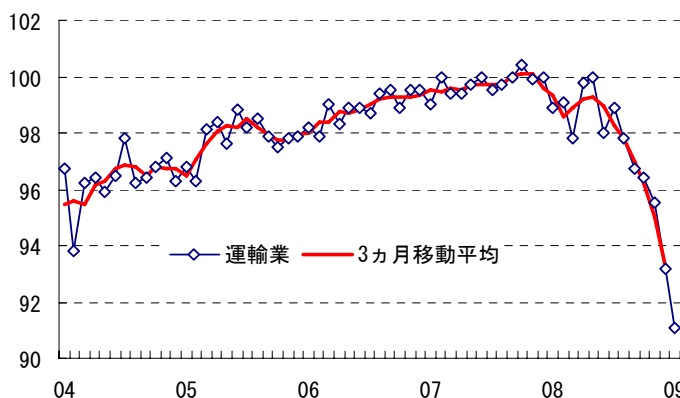
2000年=100



(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

第3次産業活動指数（季調値）

2000年=100



(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」